



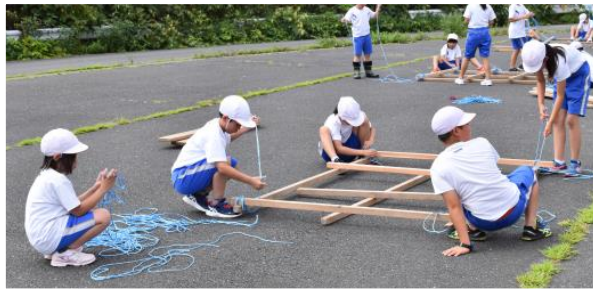
体調を崩す子が増えてきました。気温差、寝苦しさに加え、2学期3週目で疲れがでる頃かもしれません。週末は十分な休養をお願いします。

**5学年野外活動
スローガン**

「みんなで協力し、安全に、楽しい野外活動にしよう」

今年度の野外活動は、八戸の「種差少年自然の家」で行いました。例年とは行き先が違いプログラムも違いましたが、中心目標である「協力」に挑戦できそうなプログラムもたくさんありました。まずは、「いかだづくり」。自然の家の先生に何度もやり直しを命じられてがんばりました。

いかだづくり



木を組み合わせてロープで縛り、「できた！」と大喜び。でも、その喜びもつかの間、まだ木の枠が完成しただけなのでした。今度は、タイヤ縛りです。途中、お昼には、「自然の家特製“浜カレー”」が運ばれて来て、一休み。「これ、おいしい！」またまた大歓声。午後から木の枠とタイヤを合体させて、いざ海へ。海でバラバラにならないか…!?



オールで漕いでもなかなか思った方には進みません。それでも、自分達がつくったいかだが海の上に浮かんだこと、そして自分達が乗っても沈まないことが、とてもうれいことなのでした。



ウォークラリー (2日目)



ウォークラリーが終わって昼のお弁当。リーダー達はその合間をぬって打ち合わせです。活動が終わるたびに、次の活動の開始時刻などの調整をします。先生からの指示は、リーダーを通して行われます。

時間はつくるもの

何もなくて当たり前前の野外活動。もしも何かを忘れたら、おうちの人に届けてもらうなどという甘えはいけません。ないままで何とかしなければなりません。不自由があっても当たり前、野外活動ですから。その中で、「工夫」し、「人には気を遣って」生活するのだと教えてきました。

ないものが多いなかで、1つ、つくれるものがあります。それが時間です。テキパキと行動することや疲れてもがんばることで、次の活動をたくさん行うことができます。ゆったりと行ったり自由時間になったりもします。

「焼き板づくり」が終わった時でした。工藤先生から「みなさんがテキパキ行動しからだと思います。時間が25分も早く終わりました。」と教えていただきました。子ども達からは「へー!!」と歓声が上がりました。『時間はつくるもの』だとわかってくれたら大きな収穫です。



煤だらけになってもうれしそうです。

陸上の取り組み

目標達成度をウニウニで表す

6年生からの提案で、各学級で立てた陸上の目標に向かってがんばるために、毎日の目標達成度を「ウニウニ」に表して記録していくことになりました。

予定になかったことを6年生が提案してくれたことも、大きなリーダーシップです。

